

発行所 株式会社FPシミュレーション 大阪市中央区平野町3-1-10 Tel :06-6209-7678
編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax :06-6209-8145

民間給与、4年連続でダウン

Q : 民間の給与についての統計調査というものが国税庁から公表されているそうですが、どのような内容になっていますか。

A : 平均給与は4年連続のダウンとなっています。とくに賞与の減少が大きいようです。

【解説】

このほど国税庁から平成13年度の「民間給与実態統計調査結果」が公表されました。

これによると、公務員等を除いた民間企業の給与所得者数は4510万人と、3年ぶりにやや増加したものの、源泉所得税の納税者数は前年より5万人減少、しかも高額納税者の割合が減ったため、源泉徴収税額は前年比3.1%の減少となっています。

平均給与は前年度より7万円減少して454万円（男性558万円、女性278万円）となっており、平成10年度から4年連続でダウンしたことになります。

平均給与の内訳を見ると、平均給料・手当は377万円（男性460万円、女性235万円）で前年比1%のダウン、平均賞与は78万円（男性98万円、女性43万円）で前年比4%のダウンとなっています。やはり企業の収益に大きく左右される賞与の落ち込みが大きいようです。

また、業種別に平均給与をみると、最高額の「化学工業」573万円、2位の「金融保険・不動産業」564万円の2業種のみ増額で、他業種は軒並み減額となっており、最低額は「農林水産・鉱業」の314万円となっています。

